

対象国の条件:

研修コース番号:201984429-J002

案件番号:201984429

主分野課題:保健医療/結核

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

結核の新世界戦略The End TB Strategy、およびSDGsでは世界的な結核の蔓延を終息させることを目的としており、結核の予防と治療をUHCという広い文脈でとらえ、また耐性結核や薬剤耐性(AMR)についても対応し、セクターを超えた取組が必要となる。本研修では検査室のマネージメント能力と結核菌検査に習熟することを目的とし、自国での結核対策プログラムに寄与できる人材を育成することを目指す。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

研修参加者が、早期診断の強化に向け、結核/薬剤耐性結核に対応できる検査技術及びマネージメント能力を習得する。

【成果】

1. 結核対策、結核菌細菌学およびUHCやEnd TBについて説明することができる。
2. 検査室運営方法、検査室ネットワークシステムおよび精度保証を理解し、検査室業務について技師へ指導することができる。
3. 結核培養検査及び同定検査等を実施できる。
4. HIV・薬剤耐性結核および薬剤耐性菌に対応するための新しい検査法も含め、具体的な検査を実施できる。

【対象組織】

国または地方の基幹検査機関

【対象人材】

1. 州レベル以上の結核検査室に勤務する上級検査技師あるいは検査担当医師で国家結核対策プログラムに係る検査業務に責任を有する者
2. 職務経験3年以上かつ帰国後3年以上検査室業務を実施する予定の者
3. 大学卒業あるいは同程度の資格を有する者
4. 過去に類似の研修に参加したことがない者

内 容

1. 世界の結核問題、結核対策における結核検査室の役割、結核の疫学、結核の免疫、抗結核薬、塗抹検査（ZN染色・蛍光染色）、顕微鏡およびそのメンテナンス、UHCと結核世界戦略、疾患対策とUHC、新興再興感染症等
2. 結核検査室設営、PCM・ロジスティックス、ロジスティックス、記録と報告、バイオセーフティ、塗抹評価、菌株の保存と輸送、精度保証・精度管理、検査室の認証とISO15189、EQAデータ分析、塗抹検査と読影の評価、教授法等
3. 結核菌培養検査・DST検査（液体、固形）、同定検査、培養データ分析、ピラジナミダーゼテスト、培養/DSTの精度評価、PNBテスト等
4. HIVの病態と検査、DST、DST結果判定、DSTにおけるQA、2次薬DST、LAMP法、ラインプローブアッセイ、GeneXpert、分子生物学、PCR（結核）等

※本研修では、KCCP「知識共創（Knowledge Co-creation）」を促進するため、アクティブラーニングを取り入れています。

本邦研修期間

2019/10～2019/12

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA東京（人間計画）

関係省庁

厚生労働省

実施年度

2019～2021

主要協力機関

調整中

**特記事項
及び
ホームページ**